

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

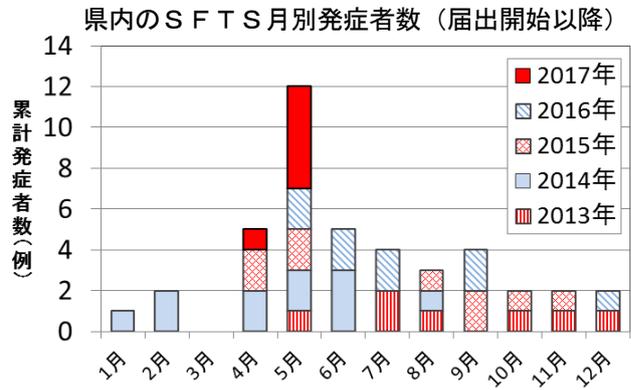
宮崎県第22週の発生動向

□今週のトピックス

・手足口病 (定点把握対象) : 第22週 (5/29~6/4) の県内の定点当たり報告数は5.2で、今年初めて流行警報レベル開始基準値(5.0)を超えた。2015年と比較して3週間早くなっている(2016年は流行警報レベル開始基準値超えず)。詳細後述。

・重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

(全数報告の感染症) の報告が宮崎市 (2例)、日南 (1例) 保健所から報告があった。県内での報告は今年4~6例目で、累計42例 (平成25年3月届出開始以降) である。患者の60歳代女性はダニの刺し口があり、70歳代男性及び80歳代女性はダニの刺し口はない。発症は、いずれも5月下旬で、海外渡航歴はない。



県内のSFTS年齢別報告数 (届出開始以降)

30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	12	13	11	2

□ 全数報告の感染症 (22週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 5 例。3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 2 例。
- 4 類感染症：重症熱性血小板減少症候群 3 例、日本紅斑熱 1 例。
- 5 類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症 2 例。

疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類 結核	宮崎市	0~4歳	女	無症状病原体保有者	—
		70歳代	女	肺結核	症状なし
		70歳代	女	肺結核	痰
		80歳代	女	無症状病原体保有者	—
	都城	70歳代	男	肺結核	発熱
3類 腸管出血性大腸菌感染症	日南	0~4歳	男	—	水様性下痢、嘔吐、O26(VT1産生)
		0~4歳	女	—	腹痛、嘔吐、発熱、脱水など、O26(VT1産生)
4類 重症熱性血小板減少症候群	宮崎市	60歳代	女	—	発熱、神経症状、下痢、嘔吐、食欲不振、血小板減少、白血球減少、リンパ節腫脹、出血傾向、刺し口
		80歳代	女	—	発熱、頭痛、筋肉痛、下痢、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少
	日南	70歳代	男	—	発熱、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少
日本紅斑熱	日南	70歳代	女	—	発熱、頭痛、刺し口、発疹、肝機能異常、血小板低下、炎症反応上昇、食欲低下、嘔気
5類 カルバペネム耐性腸内細菌感染症	宮崎市	70歳代	女	—	胆管炎
		70歳代	女	—	胆管炎

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は760人 (定点当たり22.9) で、前週比94%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナで、減少した主な疾患は感染性胃腸炎である。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

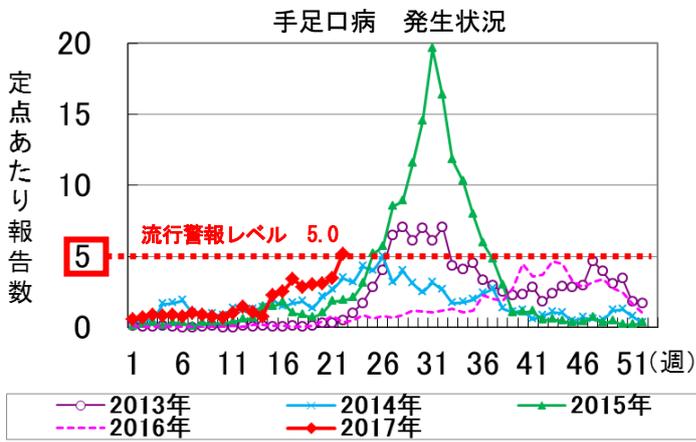
【手足口病】

報告数は186人(5.2)で、前週比149%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(1.3)の約4.1倍である。中央(11.0)、都城、日向(各8.0)保健所からの報告が多く、年齢別は1~2歳が全体の約7割を占めた。

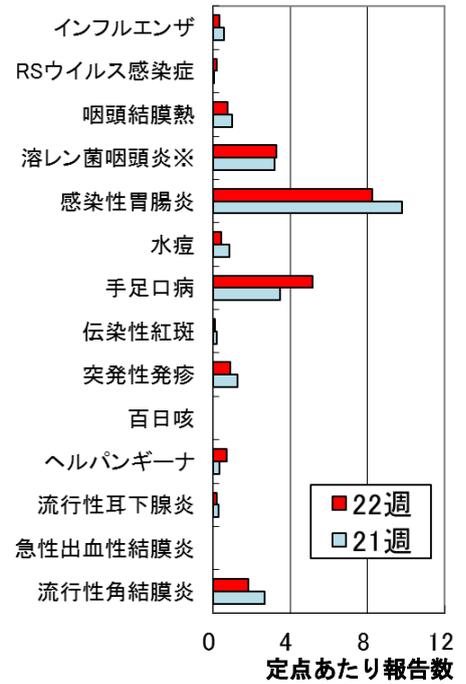
【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は119人(3.3)で、前週比103%とほぼ横ばいであり、例年同時期の定点当たり平均値*(3.4)の約1.0倍である。中央(11.0)、高千穂(9.0)、宮崎市(4.7)保健所からの報告が多く、年齢別は3~6歳が全体の約6割を占めた。

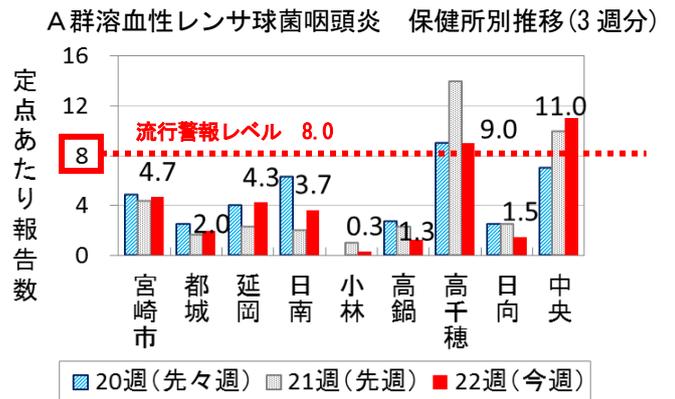
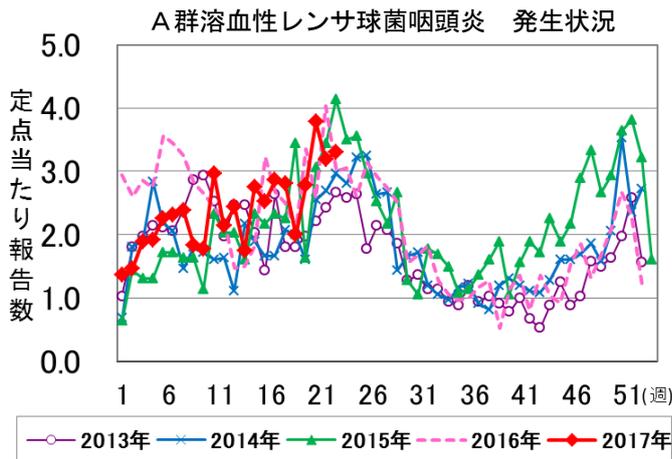
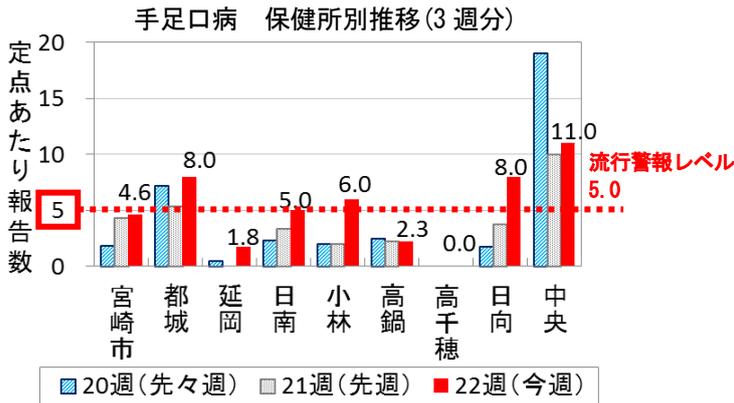
* 過去5年間の当該週、前週、後週 (計15週) の平均値



《前週との比較》



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎(ロタウイルス)：日南(3例)、都城(1例)保健所から報告があり、いずれも0～4歳であった。なお、病原体の群別は不明である。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	手足口病(8.0)
延岡	なし
日南	手足口病(5.0)
小林	手足口病(6.0)
高鍋	なし
高千穂	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(9.0)
日向	手足口病(8.0)
中央	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(11.0)、 手足口病(11.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
- ・手足口病(5.0)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 平成 29 年 6 月 5 日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Salmonella</i> Schwarzengrund (O4:d:1,7)	30歳代	女	不明	-	便	2017.05.24
<i>Salmonella</i> Stanley (O4:d:1,2)	5~9歳	男	2017.05.16	発熱(39.0℃)、胃腸炎(下痢、血便、腹痛)	便	2017.05.25
<i>Salmonella</i> Miyazaki (O9:l,z13:1,7)	0~4歳	男	2017.05.17	-	便	2017.05.26
EPEC(O26:H11)	0~4歳	男	2017.05.19	発熱(37.0℃)、咳、鼻汁、下痢	便	2017.06.02
<i>Salmonella</i> Stanley (O4:d:1,2)	0~4歳	男	2017.05.23	-	便	2017.05.30
<i>Neisseria cinerea</i>	10歳代	男	2017.05.12	骨膜下腫瘍	右側頬部蜂窩織炎	2017.05.31

○2名の男児から、*Salmonella* Stanley が分離された。*S.* Stanley は、2014年度・2015年度と当所では全く分離されていないが、2016年度に6件分離され、今年度はすでに5件分離されている。今後、食中毒の発生や患者数の増加が認められた場合には、共通の感染源がないか探索する必要がある。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状	材料	検出日
サイトメガロウイルス	0~4歳	女	2017.02.17	手足口病、38.3℃、口内炎、発疹	咽頭ぬぐい液	2017.06.02
インフルエンザウイルスB (ビクトリア系統)	40歳代	女	2017.03.07	インフルエンザB型、38.0℃、上気道炎(咽頭炎)	鼻汁	2017.05.23
インフルエンザウイルスB (ビクトリア系統)	0~4歳	男	2017.04.17	インフルエンザB型、38.8℃、上気道炎(咽頭痛)、 下気道炎(気管支炎)	鼻汁	2017.05.23
インフルエンザウイルスAH1pdm	5~9歳	女	2017.03.28	インフルエンザA型、39.8℃、上気道炎(咽頭炎)	鼻腔咽頭ぬぐい液	2017.05.23
インフルエンザウイルスAH1pdm	40歳代	女	2017.04.01	インフルエンザA型、37.9℃、関節痛、筋肉痛、 上気道炎(咽頭炎)、頭痛	鼻汁	2017.06.01
インフルエンザウイルスAH1pdm	5~9歳	男	2017.04.18	インフルエンザA型、39.0℃、上気道炎	咽頭ぬぐい液	2017.05.23
インフルエンザウイルスB (山形系統)	5~9歳	女	2017.03.28	インフルエンザB型、38.7℃、下気道炎(気管支炎)	鼻汁	2017.05.23
インフルエンザウイルスB (山形系統)	40歳代	男	2017.04.18	インフルエンザB型、39.1℃、頭痛、上気道炎(咽頭痛)	鼻汁	2017.05.23
インフルエンザウイルスAH3	50歳代	女	2017.03.28	インフルエンザA型、37.8℃、 上気道炎(咽頭炎、咽頭痛)	鼻汁	2017.05.23
インフルエンザウイルスAH3	5~9歳	男	2017.04.04	インフルエンザA型、発熱、上気道炎(咽頭炎)、 下気道炎(気管支炎)	鼻汁	2017.06.01
インフルエンザウイルスAH3	60歳代	女	2017.04.05	インフルエンザA型、39.3℃、咽頭痛	鼻汁	2017.06.01
インフルエンザウイルスAH3	0~4歳	男	2017.04.04	インフルエンザA型、肺炎、発熱、上気道炎	鼻汁	2017.06.01
インフルエンザウイルスAH3	20歳代	男	2017.04.17	インフルエンザA型、39.0℃、頭痛、筋肉痛、 上気道炎(咽頭炎)	鼻汁	2017.05.23
インフルエンザウイルスAH3	5~9歳	男	2017.05.02	インフルエンザA型、40.0℃、上気道炎(咳、鼻水)	咽頭ぬぐい液	2017.06.01
ライノウイルス	0~4歳	男	2017.03.10	多型紅斑、37.9℃、発疹(紅斑)	咽頭ぬぐい液	2017.06.05
ライノウイルス	0~4歳	女	2017.03.30	不明熱、39.2℃、上気道炎(扁桃炎)	咽頭ぬぐい液	2017.06.05
ライノウイルス	10歳代	男	2017.04.21	感染性胃腸炎、39.1℃、下気道炎(気管支炎)、 胃腸炎(下痢、嘔気、嘔吐)	鼻腔咽頭ぬぐい液	2017.06.05
ライノウイルス	10歳代	女	2017.04.24	咽頭炎、38.2℃、上気道炎(咽頭炎)	鼻汁	2017.06.05
ライノウイルス	0~4歳	女	2017.05.01	無呼吸発作、無呼吸、鼻汁、鼻閉、哺乳時チアノーゼ	鼻腔咽頭ぬぐい液	2017.06.05
ライノウイルス	0~4歳	女	2017.05.01	咽頭炎、38.8℃、上気道炎(咽頭炎)	鼻汁	2017.06.05
ライノウイルス	0~4歳	男	2017.05.12	気管支炎、38.2℃	咽頭ぬぐい液	2017.06.05
ライノウイルス	0~4歳	男	2017.05.15	ウイルス性上気道炎または百日咳、上気道炎	鼻汁	2017.06.05
ライノウイルス	0~4歳	女	2017.05.17	上気道炎疑い、38.5℃、上気道炎	咽頭ぬぐい液	2017.06.05
ライノウイルス ヒトメタニューモウイルス	0~4歳	女	2017.05.18	百日咳疑い、上気道炎	咽頭ぬぐい液	2017.06.05
ヒトメタニューモウイルス	0~4歳	女	2017.03.29	集団かぜ、40.3℃、咳、鼻水、下痢	咽頭ぬぐい液	2017.06.05
ヒトメタニューモウイルス	0~4歳	男	2017.03.29	集団かぜ、40.0℃、咳、鼻水、	咽頭ぬぐい液	2017.06.05
ヒトメタニューモウイルス	0~4歳	女	2017.04.24	不明熱、40.0℃、下気道炎(気管支炎)、胃腸炎(下痢)	咽頭ぬぐい液	2017.06.05
パラインフルエンザウイルス3型	0~4歳	男	2017.04.25	細菌性肺炎疑い、38.3℃、下気道炎(肺炎、気管支炎)	咽頭ぬぐい液	2017.06.05
パラインフルエンザウイルス3型	0~4歳	女	2017.05.01	インフルエンザA型、39.4℃、上気道炎	鼻汁	2017.06.05
ムンプスウイルス	0~4歳	男	2017.05.15	髄膜炎、脳炎、39.0℃、熱性けいれん、意識障害	咽頭ぬぐい液 髄液	2017.06.01
麻疹ウイルス (ワクチン株由来)	0~4歳	女	2017.05.30	麻疹疑い、発熱、39.9℃	咽頭ぬぐい液 血液	2017.05.31

○髄膜炎、脳炎の症状のある幼児の咽頭ぬぐい液と髄液からムンプスウイルスが検出された。ムンプスウイルスは唾液を通じて、空気感染や接触感染などにより感染する。一般的に2～12歳の子供に感染するが、3～4割は不顕性感染であるとされている。ムンプスウイルスによる髄膜炎は、髄膜炎の中では比較的症状が軽いが、重症化すると脳炎を起こす場合もあり、まれに顔面神経麻痺などの後遺症が残る場合もあることから、注意が必要である。

○ライノウイルスが、呼吸器症状などを呈した10名の咽頭ぬぐい液および鼻汁から検出された。ライノウイルスの流行は、春と秋とされている。当所における昨年4月～6月末までのライノウイルス検出数は4件であったが、今年は4月～6月上旬までに14件検出されており、今後の発生動向に注意が必要である。

○ワクチン接種後の幼児の咽頭ぬぐい液および血液から麻疹ウイルスが検出された。麻疹ワクチン接種後の副反応として、発熱や発疹などの症状を呈することもあるが、野生株麻疹に比べ症状は軽いとされている。また、これまでのところ、ワクチン株麻疹の患者から他人へ感染した事例は報告されていない。

🇯🇵 全国 2017 年第 21 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 21 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	344 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	29 例				
4類感染症	E型肝炎	2 例	A型肝炎	4 例	オウム病	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	4 例	つつが虫病	7 例	デング熱	3 例
	日本紅斑熱	9 例	レジオネラ症	41 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	11 例	ウイルス性肝炎	7 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	18 例
	急性脳炎	8 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	11 例
	後天性免疫不全症候群	16 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	6 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	44 例	水痘（入院例）	3 例	梅毒	77 例
	破傷風	1 例	風しん	2 例	麻しん	3 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 100%と横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は咽頭結膜熱と水痘で、減少した主な疾患はインフルエンザと流行性耳下腺炎である。

R S ウイルス感染症の報告数は 698 人(0.22)で前週比 96%とほぼ横ばいであり、例年同時期の定点当たり平均値*(0.11)の 2.0 倍である。沖縄県(2.8)、北海道(0.94)、新潟県(0.51)からの報告が多く、年齢別では1歳以下が全体の約 8 割を占めた。

咽頭結膜熱の報告数は 2,867 人(0.91)で前週比 140%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(0.61)の約 1.5 倍である。鹿児島県(1.9)、北海道、山梨県(各 1.8)からの報告が多く、年齢別では1～3歳が全体の約 6 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均値

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2017年 第22週(5月29日～6月4日)

疾病名		第21週	第22週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	34	20	3	4	1	7		5			
	定点あたり	0.58	0.34	0.19	0.40	0.14	1.40	0.00	0.83	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	1	8	3	2				2		1	
	定点あたり	0.03	0.22	0.30	0.33	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	36	28	8	5	3	4	5	1		1	1
	定点あたり	1.00	0.78	0.80	0.83	0.75	1.33	1.67	0.25	0.00	0.25	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	115	119	47	12	17	11	1	5	9	6	11
	定点あたり	3.19	3.31	4.70	2.00	4.25	3.67	0.33	1.25	9.00	1.50	11.00
感染性胃腸炎	報告数	353	297	71	63	15	57	28	11	2	45	5
	定点あたり	9.81	8.25	7.10	10.50	3.75	19.00	9.33	2.75	2.00	11.25	5.00
水痘	報告数	31	16	5	3	2	2	2			2	
	定点あたり	0.86	0.44	0.50	0.50	0.50	0.67	0.67	0.00	0.00	0.50	0.00
手足口病	報告数	125	186	46	48	7	15	18	9		32	11
	定点あたり	3.47	5.17	4.60	8.00	1.75	5.00	6.00	2.25	0.00	8.00	11.00
伝染性紅斑	報告数	7	4			3					1	
	定点あたり	0.19	0.11	0.00	0.00	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
突発性発しん	報告数	46	33	4	15	1	3	2	2		4	2
	定点あたり	1.28	0.92	0.40	2.50	0.25	1.00	0.67	0.50	0.00	1.00	2.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	13	26	17		1			6		2	
	定点あたり	0.36	0.72	1.70	0.00	0.25	0.00	0.00	1.50	0.00	0.50	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	10	8	1	2	2		1			2	
	定点あたり	0.28	0.22	0.10	0.33	0.50	0.00	0.33	0.00	0.00	0.50	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	16	11	10		1						
	定点あたり	2.67	1.83	3.33	0.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	4	4		1		3					
	定点あたり	0.57	0.57	0.00	1.00	0.00	3.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2017年第1週～22週)

2類感染症	結核	90例(5)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	4例(2)				
4類感染症	E型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	6例(3)	つつが虫病	6例
	日本紅斑熱	1例(1)	レジオネラ症	3例		
5類感染症	ウイルス性肝炎	1例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	4例(2)	急性脳炎	3例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例	後天性免疫不全症候群	5例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	10例	水痘(入院例)	1例
	梅毒	5例	破傷風	2例	麻疹	1例

()内は今週届出分、再掲